

# 取扱説明書

## ドレッサー



### ■安全上のご注意とお願い■

このたびはお買い上げ誠にありがとうございます。本品を末永く、安全にご使用していただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後まで読み、正しくご利用していただきますようお願い申し上げます。尚、お読みになった後も、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。用途以外でご使用になった場合の故障・修理・事故その他の不都合については責任を負いかねますのでご了承ください。ご使用上、誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷等の重大な結果に結び着く可能性が大きいものを「危険」「警告」としてまとめています。しかし「注意」の事項でも状況によっては重大な結果に結び着く可能性があります。いずれも安全に関する重要な事項ですので必ず守ってください。

### ■設置方法■

#### 警告

- 地震等で家具が倒れ、けがをすることがあるので、建物の壁・床・天井等に固定用金物や固定部材で、しっかりと固定してください。また、家具の上にものを置くと、落ちてけがをすることがあるので、置き方にご注意ください。

#### 注意

- 高温・多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害することがあります。家具の、裏側も空気が流れるよう壁から少し離したり（10cm位が望ましい）部屋を換気してください。

- 直射日光や熱・冷暖房器の強風等が直接当らないようにしてください。家具がゆがんだり、変色したりする原因になることがあります。

- 家具は水平を保つように置いてください。ガタツキのまま使っていると、扉の開閉や引出しお出し入れがスムーズでなかったり家具の強度が落ちる等、家具がこわれたり、けがをする原因になることがあります。

### ■ご使用にあたって■

#### 危険

- ネジはゆるまないようにしっかりと締めて、ぐらつきがないか確認してからご使用ください。また、定期的（1ヶ月に1回程度）に点検してください。ネジのゆるみは、破損、転落の原因となるため大変危険です。

#### 警告

- 引出しや扉等のある商品は、引出しや引手の上に乗ったり、扉等にぶら下ったり、むりな力で引張ったりしないでください。家具が倒れてけがをすることがあります。

また、扉や引出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないでください。重心が前へ移り転倒して、けがや破損することがあります。

#### 注意

- 家具の上に、加熱したなべ・やかん等を直接置かないでください。こげや変色の原因になることがあります

- 畳やフローリング等の上でご使用になる場合は、床を傷つけることもありますので、ラグやマットを敷いてからのご使用をお薦めします。

- 家具を移動する時は、落したり倒したりして、ものをこわしたり、けがをすることがないように、両手でしっかり持って運んでください。

- 引出しやかごが付いている場合、これをいっぱいに引き出すと、ぬけおちてけがをすることがあります。

- 家具を設置の際は室内の換気を十分にしてください。化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などは、アレルギー症状を起こす恐れがあります。

- 納品直後は家具から塗料の臭いが発生することがあります。お部屋の空気を何度か入れ替えて換気してください。数日から1週間程度で臭いは落ち着きます。

- クッションカバーは洗濯すると、縮んだり、色落ち、変質の原因になりますのでご遠慮ください。

- ネジを必要以上の力で締めないでください。ネジ山や溶接部分の破損の原因となります。

- 熱や水、薬剤には弱いため、熱い食器やカップ、濡れたコップ等は直接置かず、コースターや敷物等を置いて使用してください。また、「化粧水等の液がこぼれる」なども跡が残りますのでお気をつけください。

- ゴム製品や樹脂製品を長時間置くと塗装面と吸着して、塗装の剥がれや汚れの原因となる可能性がございますので、ご注意ください。

- 水分やアルコールは塗装に変色が起こる可能性がございますので、付いてしまった場合はすぐに拭き取ってください。

- 可動部分に手を挟まないで下さい。けがをする原因になることがあります。

- 家具の上に立ったり、とんだり、踏台代りに使ったり、不安定な姿勢で掛けたりしないでください。特に（図A）の座り方は、避けてください。商品の一部に負担がかかり破損するおそれがあります。

- 背部と座部を利用してのお子様のシーソー遊びや飛び跳ねたりして遊ぶこと（図B）は、絶対に避けてください。

- 安全の為、破損、変形した家具は使用しないでください。

- 本製品のスツールは椅子として、正しい使用方法でご利用ください。



(図A)



(図B)



#### ・ドレッサー

##### 外形寸法

幅	750	×	奥行き	400
×	高さ	1380	(天板高さ	740) mm

主要材質 繊維板

表面加工 ラッカー塗装

#### ・スツール

##### 外形寸法

幅	370	×	奥行き	280
×	高さ	450	mm	

座面の高さ 450 mm

構造部材 繊維板

表面加工 ラッカー塗装

張り材 ポリエチル

クッション材 ウレタンフォーム

イ、直射日光又は、ストーブ等の熱をさせてください。

ロ、加熱したなべ、湯沸かし等を直接おかないでください。

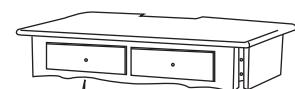
ハ、著しい汚れを落とす場合は、うすめた中性洗剤を使用してください。

原産国 中国 PL生産物賠償責任保険付

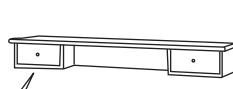
## ドレッサー

■部品詳細■ 開梱後すぐに部品の確認をして下さい。

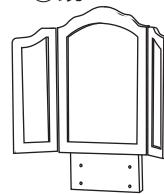
①天板A ×1



②天板B ×1



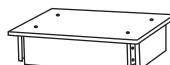
③鏡 ×1



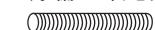
引出しの内側に取っ手とネジが  
セットされています。



⑥座部 ×1



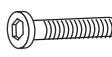
⑦座面 ×1

Ⓐボルト(長) ×10  
(予備×2含む)Ⓑボルト(短) ×10  
(予備×2含む)

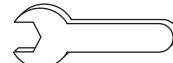
Ⓒネジ ×4



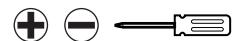
Ⓓ六角ボルト ×4



Ⓔスパナ ×1



Ⓕ六角レンチ ×1

Ⓖワッシャー ×22  
(予備×2含む)Ⓗナット ×18  
(予備×2含む)Ⓘ埋め込みナット ×18  
(予備×2含む)

プラスドライバーとマイナスドライバーをご用意ください。

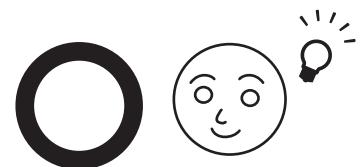
組立て時、床を傷つける場合がありますので、下にマットなどを敷いて床を保護してから組立てを始めてください。

POINT、

# 組み立てのコツ

## 最初はボルトを「ゆるめ」に締める！

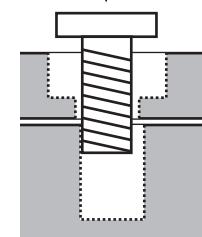
全部のボルトをゆるめに締める、  
「仮止め」を行って組み立てます。  
最後まで組み立てから、  
全部のボルトを締めて形を整えます。



### 仮止め

↑このマークがついている工程は  
必ず「仮止め」をしてください。

ゆるく締める

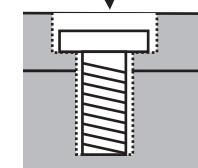


**注意** 最初からボルトを  
きつく締めてしまうと…

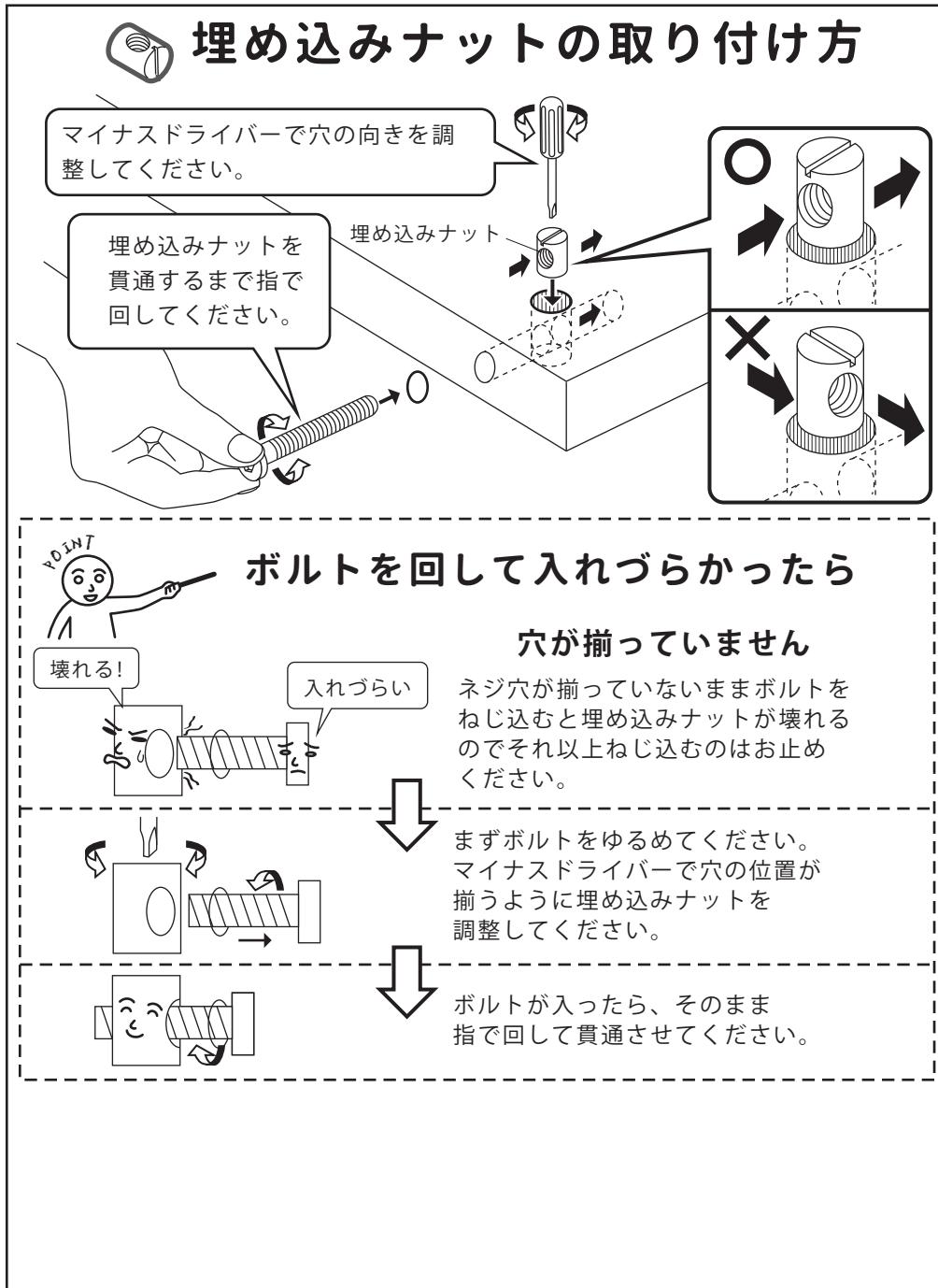
組立中に家具の部品にゆがみが生じて、  
ネジ穴が揃わなくなる可能性があります。  
最後まで組み立てられなかったり、家具がゆ  
がむ恐れがありますので、最初からきつく締  
めることはおやめください。



きつく締める



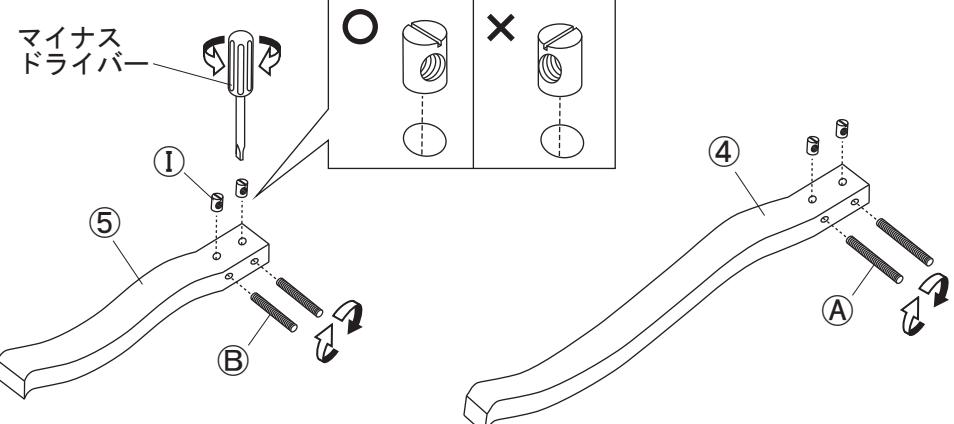
## ドレッサー



## ■組み立て方法■

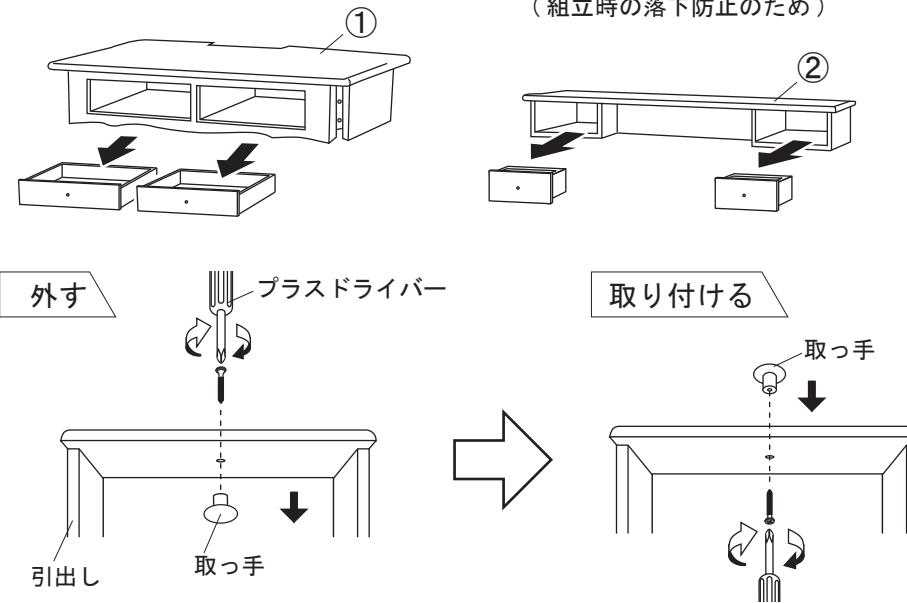
1

3ページの「埋め込みナットの取り付け方」をご参照ください。



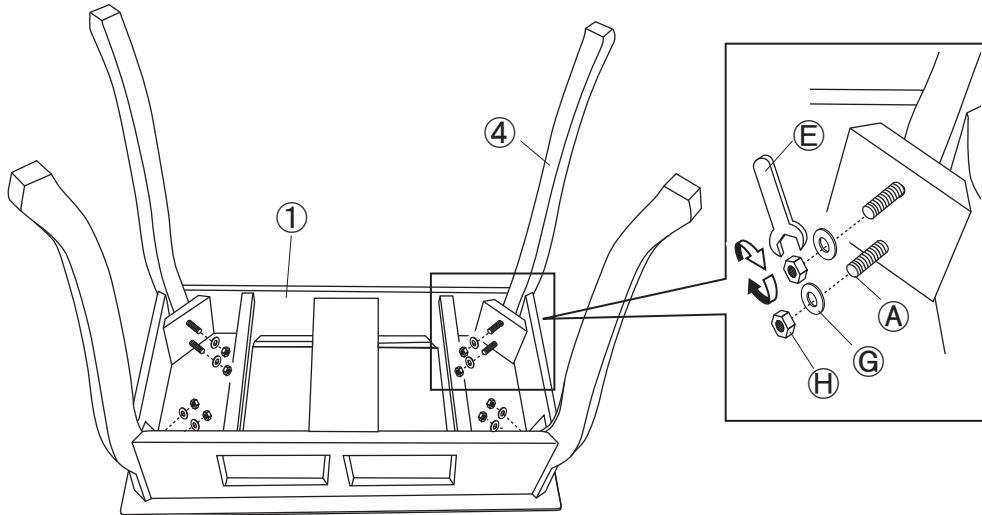
## 2 仮止め 取っ手の付け替え

天板Aと天板Bから引出しを抜き出して、取っ手を付け替えます。  
(組立時の落下防止のため)

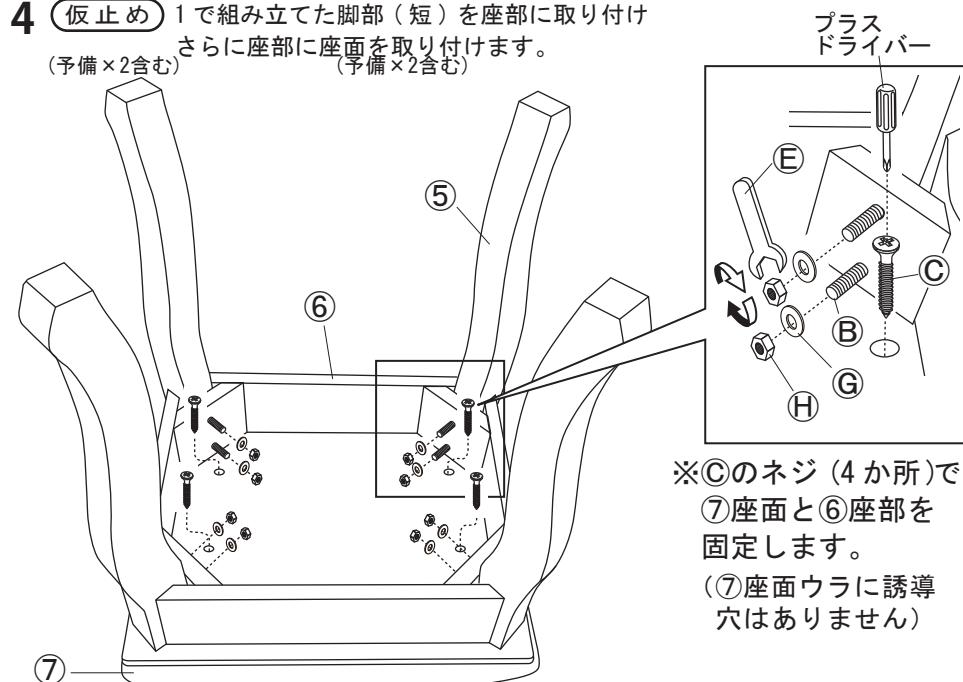


# ドレッサー

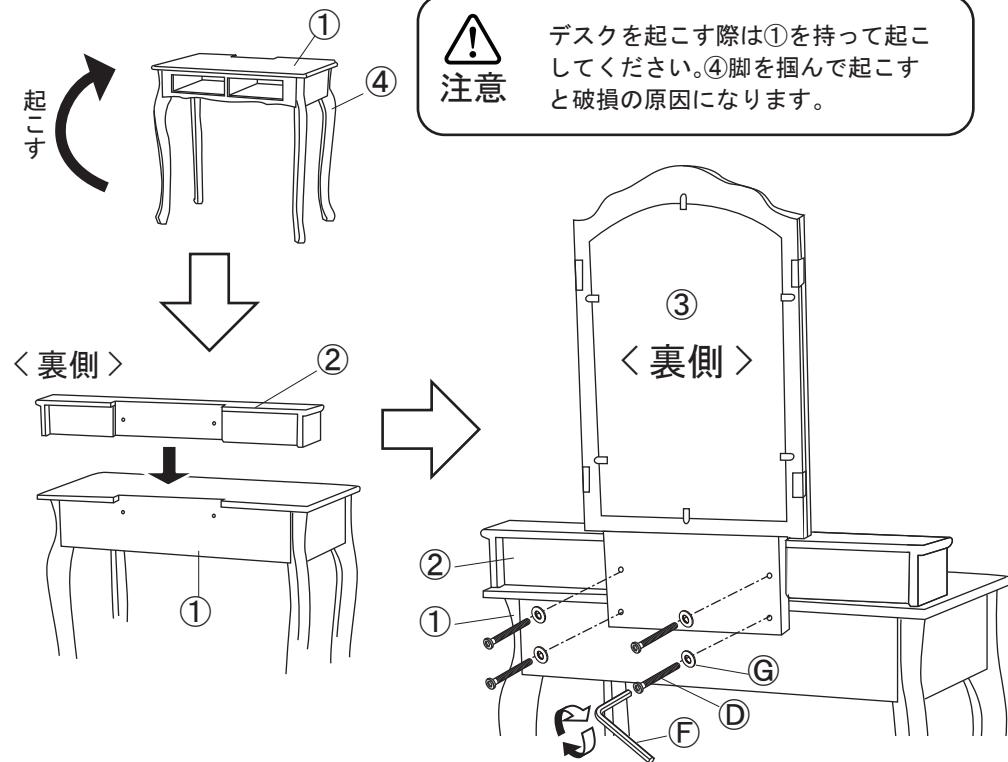
**3 (仮止め)** 1で組み立てた脚部(長)を天板Aに取り付けます。



**4 (仮止め)** 1で組み立てた脚部(短)を座部に取り付け  
さらに座部に座面を取り付けます。  
(予備×2含む)



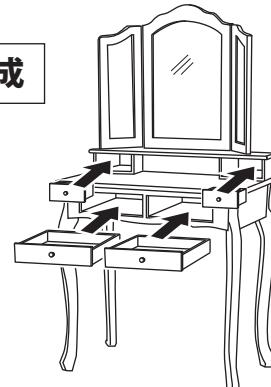
**5 (固定)** 天板Aの上に天板Bをのせ、天板ABを繋ぐように鏡を固定します。



**6 (固定)** 全てのボルトとナットとネジをしっかりと締めてください。

**7** 引出しを収納して完成です。

**完成**



**警告**



引き出しを開けたまま荷重をかけないでください。転倒し重大なケガ、破損につながる恐れがありますので、絶対におやめください。